

本日はご参加ありがとうございます。セミナー開始まで少々お待ちください。

BIM図面審査 確認申請用CDE消防説明会

令和7年10月16日（木）
16:00～17:00

タイムテーブル

16:00～ : 消防庁予防課 挨拶

16:05～ : BIM図面審査制度のご説明

16:15～ : 確認申請用CDEのご説明

【ご質問について】

主な質疑と回答については、追って後日ICBAサイトにて公開する予定です。

ご質問があれば、以下の手段にてお願いします。

- 1.説明会中におけるZoomのQ＆Aから
- 2.配布予定のアンケートから：ご質問をお受けする項目を準備しております。

※なお、説明会時間内におけるリアルタイムな回答はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

BIM図面審査 確認申請用CDE 消防説明会

2025/10/16

一般財団法人建築行政情報センター

26年4月から「BIM図面審査制度」が始まり、
確認申請用CDE(審査関連情報を共有する仕組み)を用いた審査が実施されます。
消防同意事務についても確認申請用CDE上で行うことを想定しています。

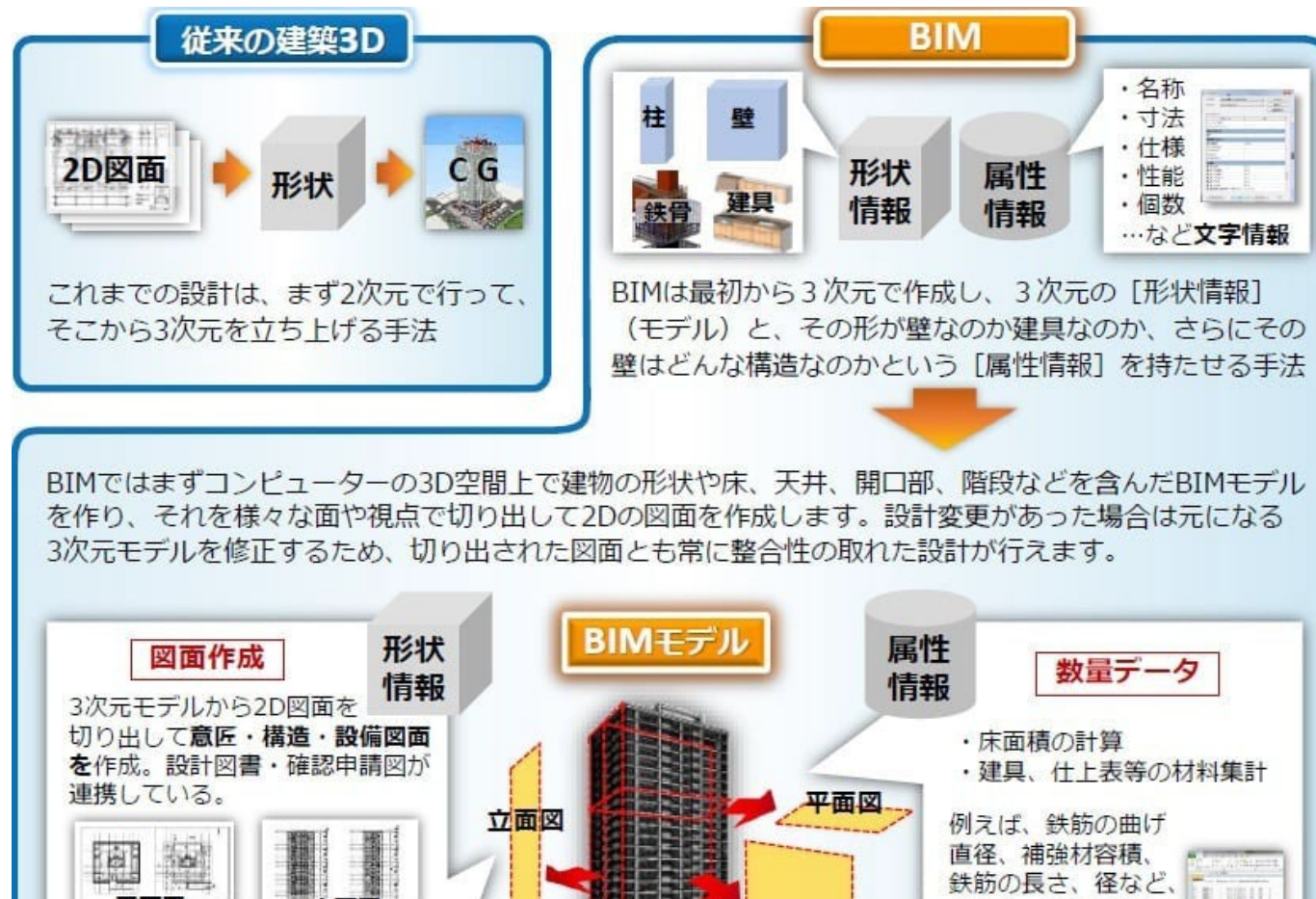
本日は確認申請用CDEの仕組み・メリットに加え、
制度開始に向けてご協力いただきたい事項をご説明します。

本日のアジェンダ

1. BIMとは
2. BIM図面審査・データ審査の制度の準備状況
3. 確認申請用CDEの概要、メリット（消防同意事務）
4. ご協力依頼と2026年3月までにご対応いただきたいこと

BIMとは

■ BIMとは、「Building Information Modeling」のことであり、コンピュータ上に作成した主に**3次元の形状情報**に加え、室などの名称や面積・材料・部材の仕様や性能、仕上げなどの**建物の属性情報**を併せ持つ**建築情報モデル（BIMモデル）**を構築するもののことです。



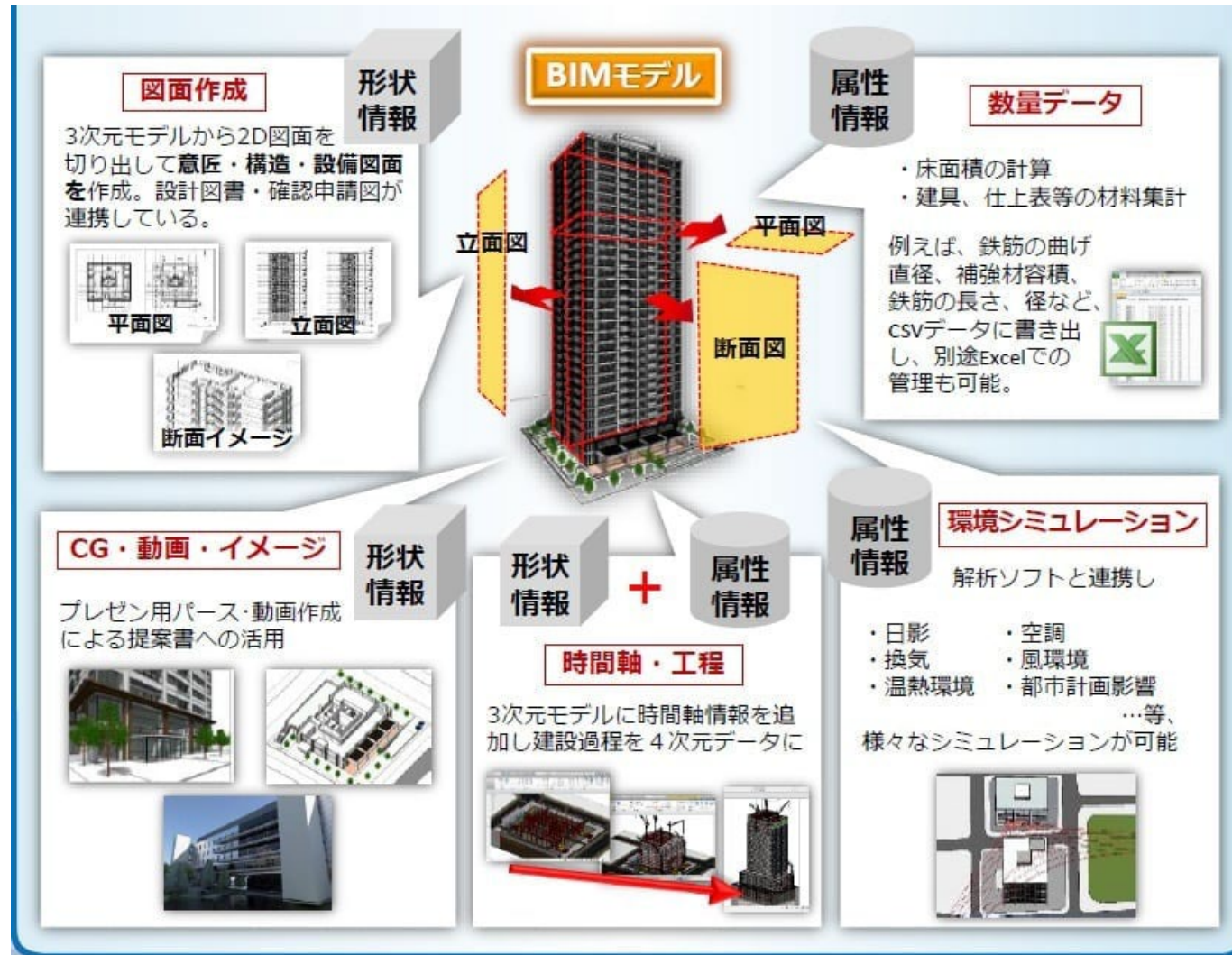
使い道①

使い道②

使い道③

使い道⑤ etc...

使い道④



<BIMによる設計を行う場合の手順>

- 3次元の建物モデル（3Dモデル）を作成し、室の名称や材料の仕様などの情報（属性情報）を入力。
- 3Dモデルを切り出して形状を表示し、入力された属性情報から室の名称等必要な情報を表示して図面を作成。

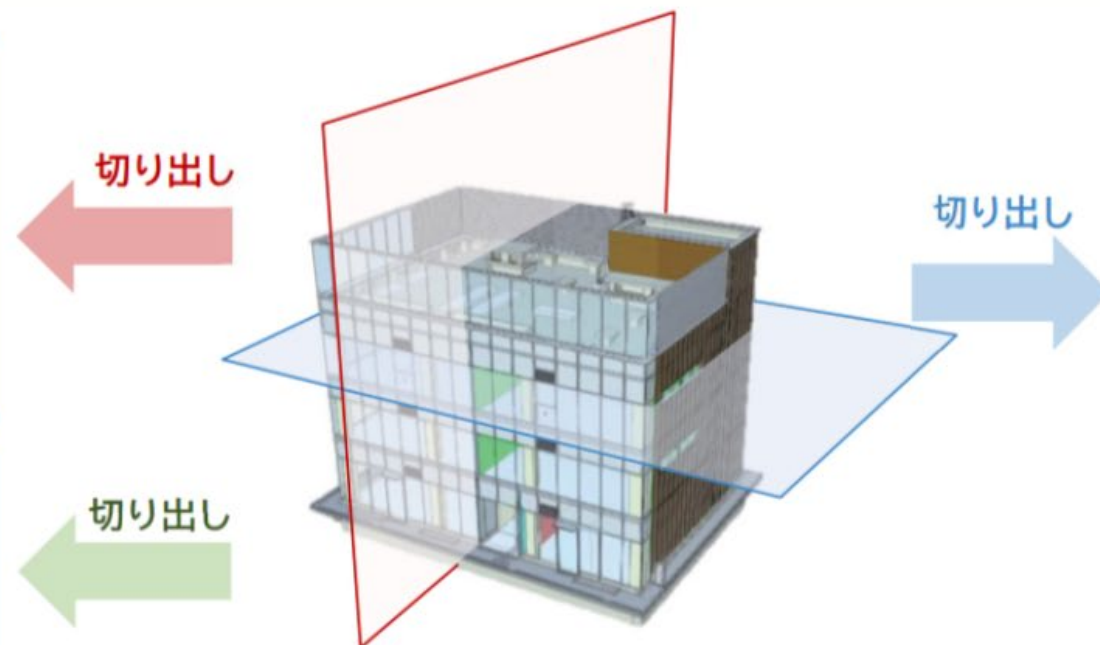
<BIMによる設計を行う場合の特徴>

- 建物の3Dモデルが作成される。
- 3Dモデルからの切り出しや入力された情報の表示により、整合した図面や表が作成しやすい。

断面図



立面図



3Dモデルからの切り出しのイメージ

切り出し



平面図

高品質・高精度な 建築生産・維持管理の実現

いいものが



- 3Dモデルの形状と属性情報により空間を確認することで、建築のプロでない人でもイメージを共有
- 設計・施工時の情報が一元管理されることで、建築生産の効率的な品質管理を実現
- 完成後も活用可能なデータにより、最適な維持管理、資産管理、エネルギーマネジメントを支援

高効率なライフサイクルの実現

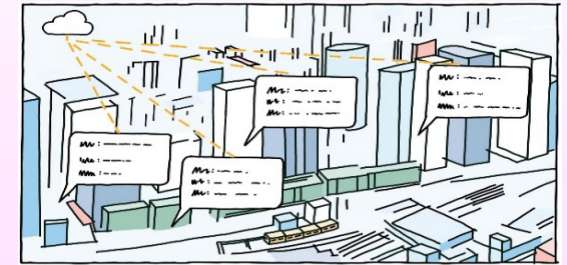
無駄なく、速く



- 投資効果の可視化（コストマネジメント）による迅速な意思決定
- 設計・施工・維持管理段階の円滑な情報の伝達により、無駄のない建物のライフサイクルを実現
- 設計・施工の各工程の作業効率化
- 維持管理の省力化の実現
- 海外との共通・競争基盤としてのBIMの確立

社会資産としての 建築物の価値の拡大

建物にも、 データにも 価値が

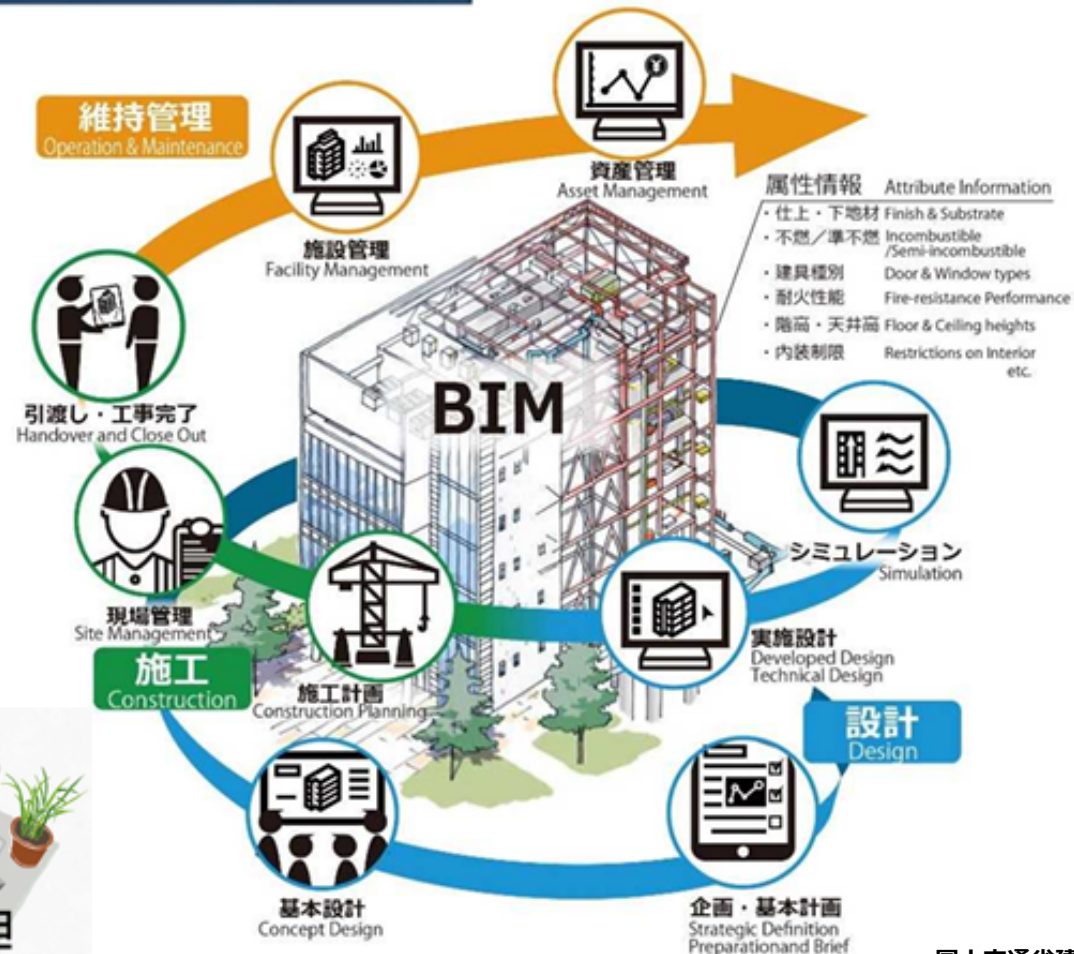


- 適正かつリアルタイムな資産評価・管理の実現
- センサー等との連携による建築物へのサービス拡大
- ビッグデータ・AIの活用による建築物を起点とした新たな産業の創出
- インフラプラットフォームとの融合による最適化リスク管理の実現

- 将来像の実現にはBIMの普及、BIMデータの集まる仕組みづくりが必要であり、その足掛かりとしてBIMを活用した建築確認検査の実現を目指します。

BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス

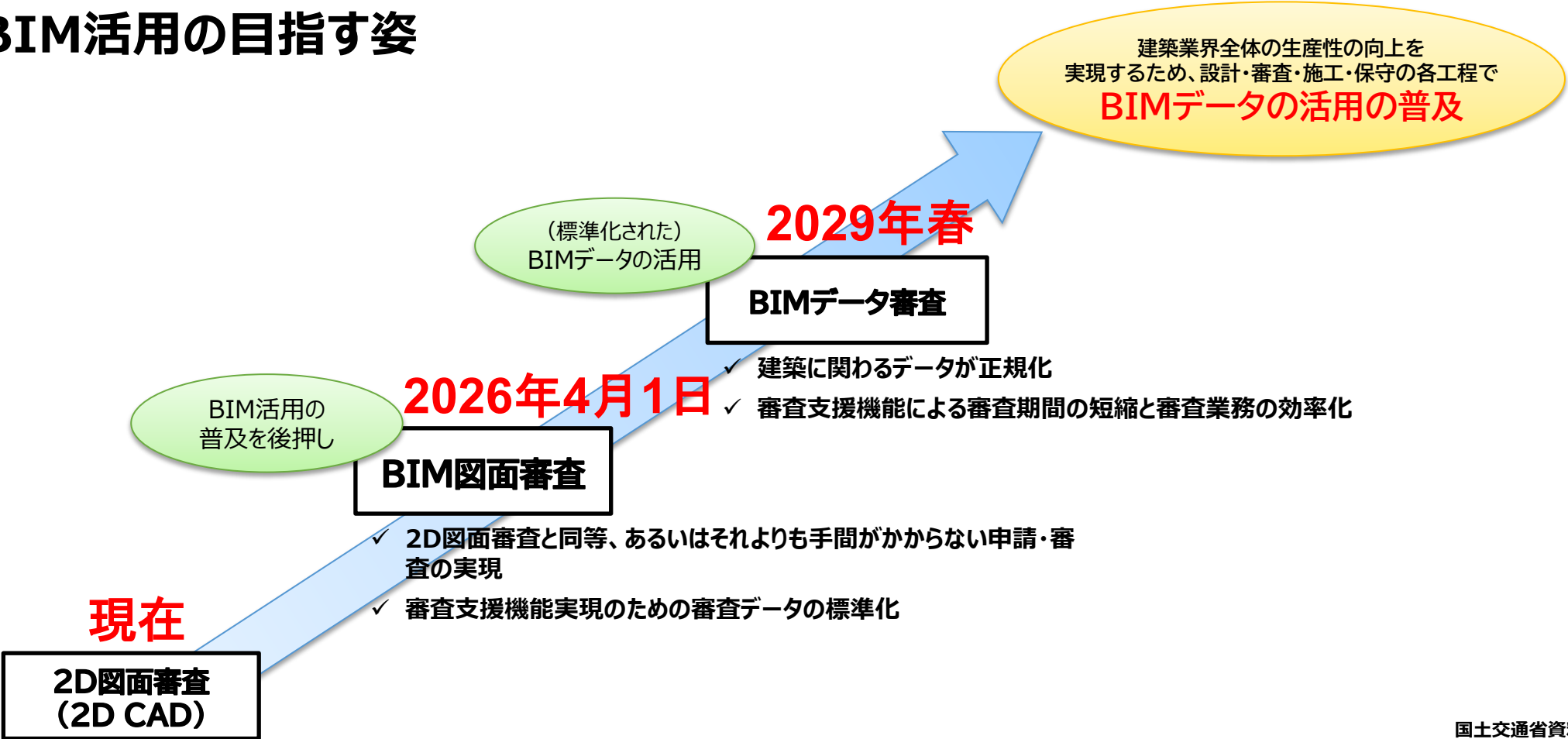
- 3次元形状で建物をわかりやすく「見える化」し、コミュニケーションや理解度を向上
- 各モデルに属性情報を付加可能
- 建物のライフサイクルを通じた情報利用／IoTとの連携が可能



BIM図面審査・データ審査の制度の準備状況

- 建築業界全体におけるデータ活用の推進に向けて、以下の3つの主要なステップを実行します。
- 第1段階では、整合性の高い申請書類を作成し、それにより審査プロセスの一部を簡略化することを目指します。
- 第2段階では、BIMデータを活用した新たな審査制度を設計し、建築確認申請の審査期間の短縮など、利用者の利便性向上を図ります。
- 第3段階として、収集したBIMデータを基盤に、建築業界全体の効率化および高度化を実現します。

BIM活用の目指す姿



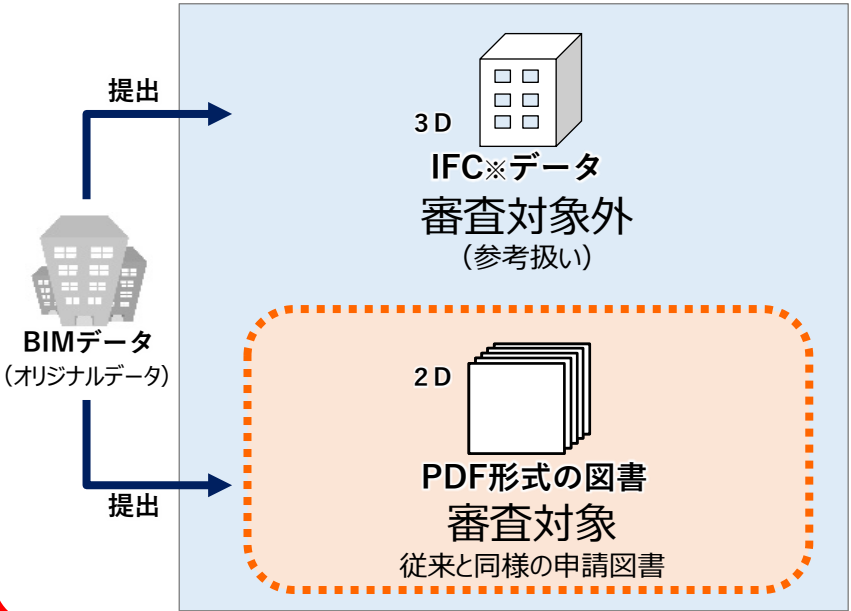
- BIM図面審査は、BIMデータより出力された図面を審査の対象にすることで、図面間の整合チェックを不要とする制度です。審査は図面の他に同じBIMデータから出力されたIFCデータも参照され、構造の把握に役立てられます。
- また、2029年春より始まるBIMデータ審査では、IFCデータ自体が審査対象となり、さらなる審査の効率化が図られる見込みです。

BIM図面審査

BIMデータから出力されたIFCデータとPDF形式の図書の提出により、図面間の整合チェックが不要となり、審査期間の短縮に寄与

2026年春
開始

2027年度
全国展開



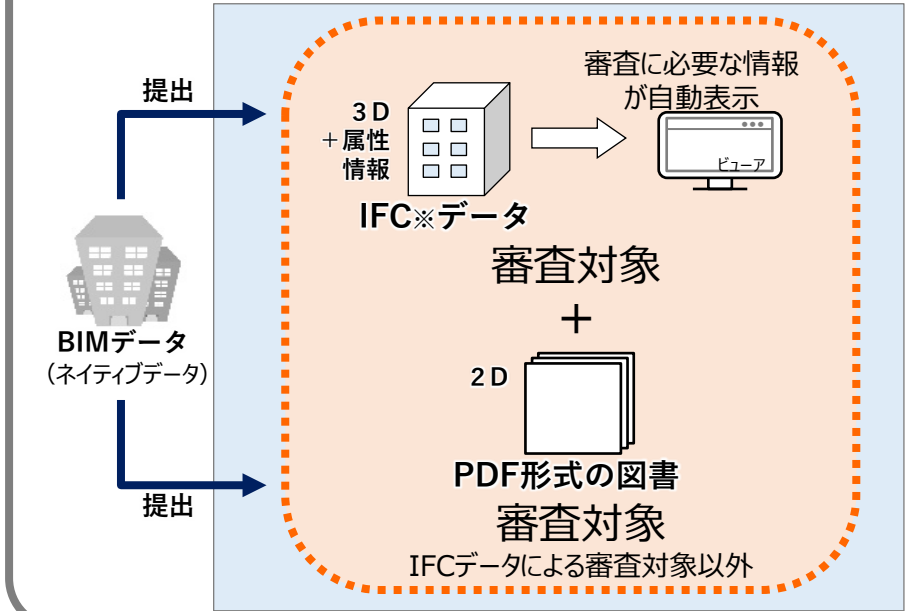
※ IFC : BIMの共通ファイルフォーマット

BIMデータ審査

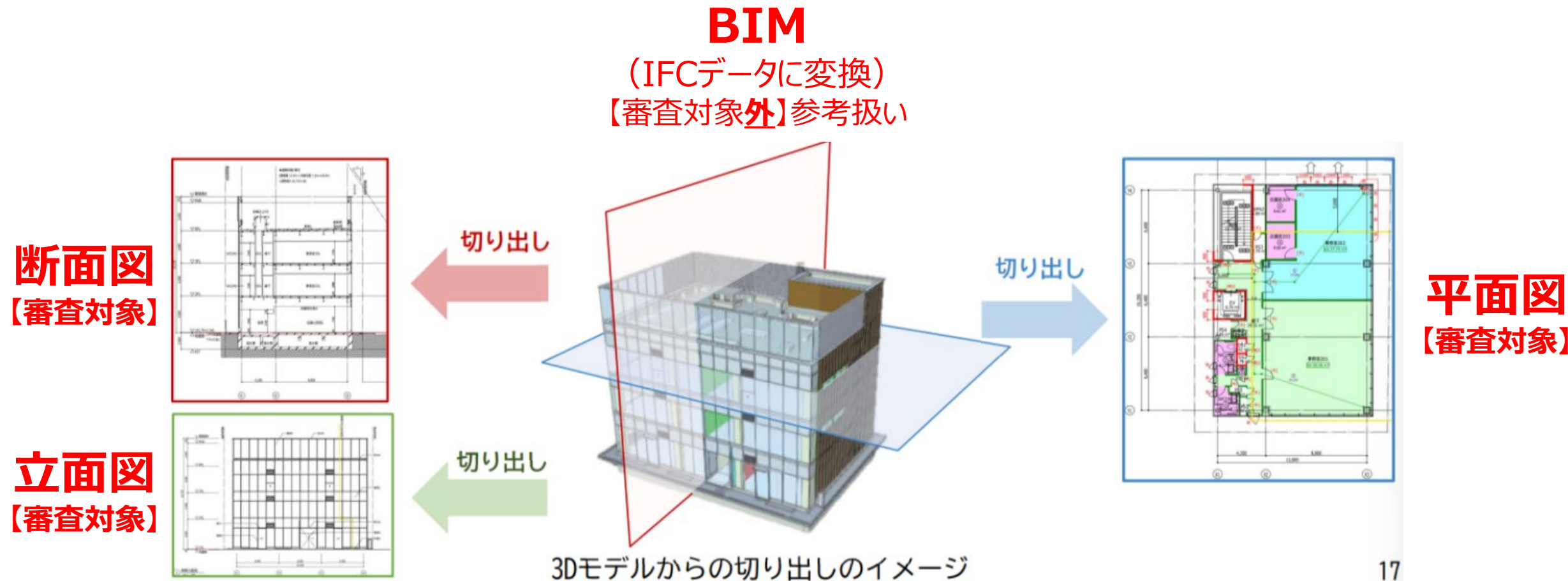
IFCデータを審査に活用し、審査に必要な情報が自動表示されることにより、更なる審査の効率化（審査期間の更なる短縮）に寄与

2029年春
開始

将来像
IFCデータを活用した
審査対象を順次拡大



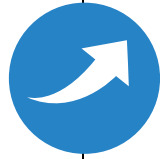
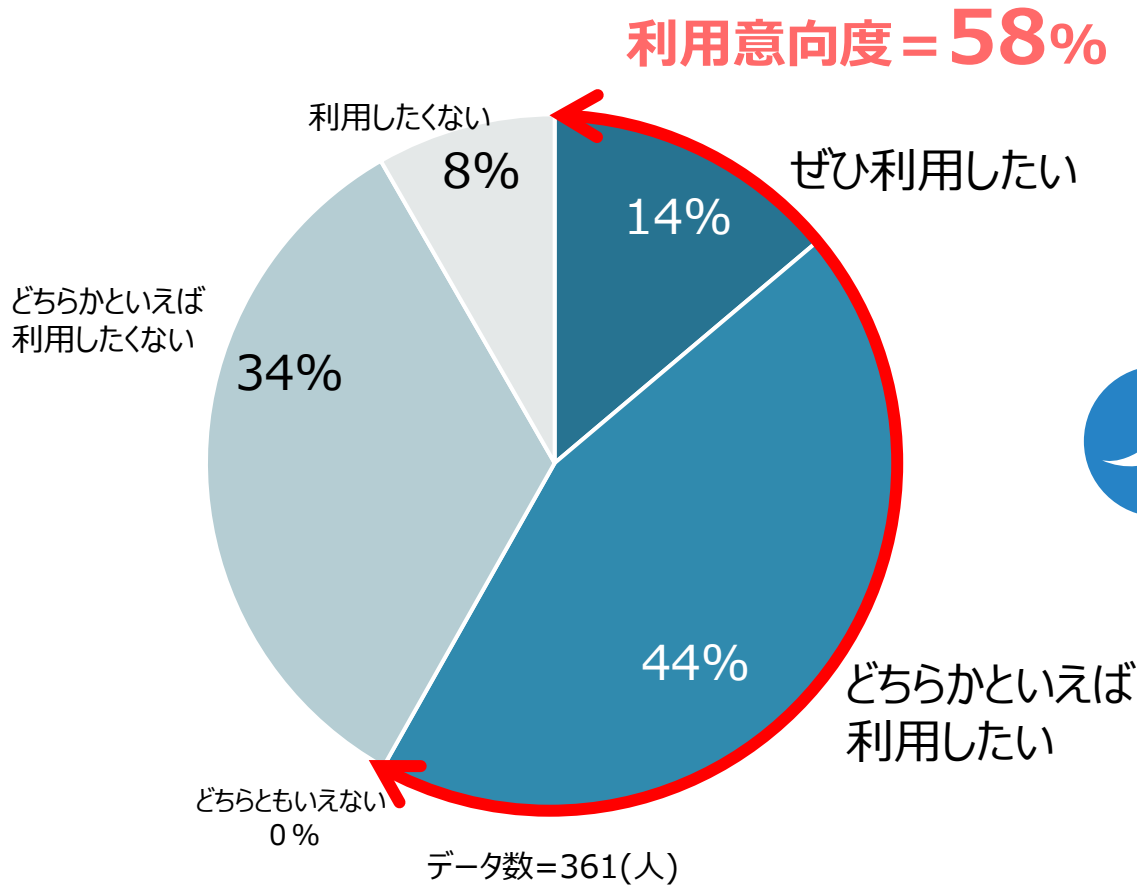
■ : CDE上での提出範囲 ■ : 審査対象範囲



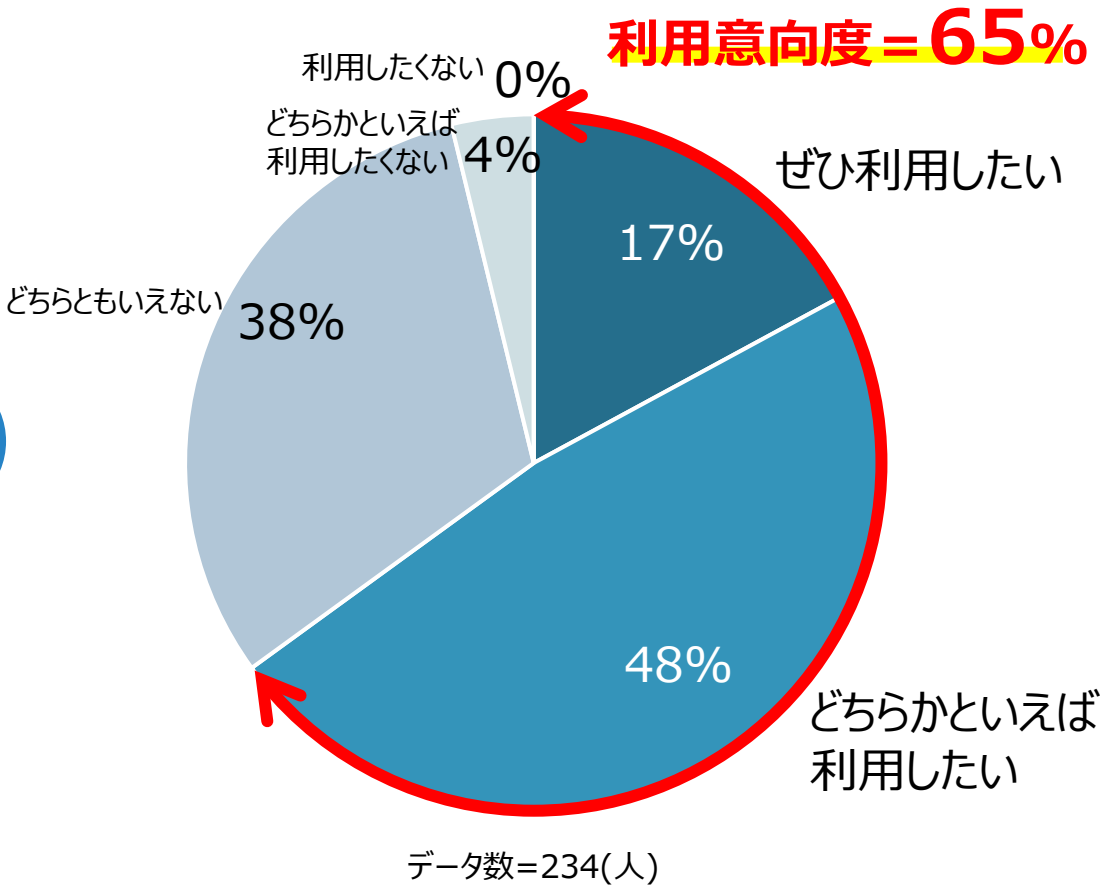
BIM図面審査の利用意向 申請者向けアンケートの結果

■ 申請者のBIM図面審査への利用意向は5月では5割超程度でしたが、8月には7割近くまで高まっています。

ゼネコン・設計事務所における
BIM図面審査の利用意向(5月時点)



ゼネコン・設計事務所における
BIM図面審査の利用意向(8月時点)

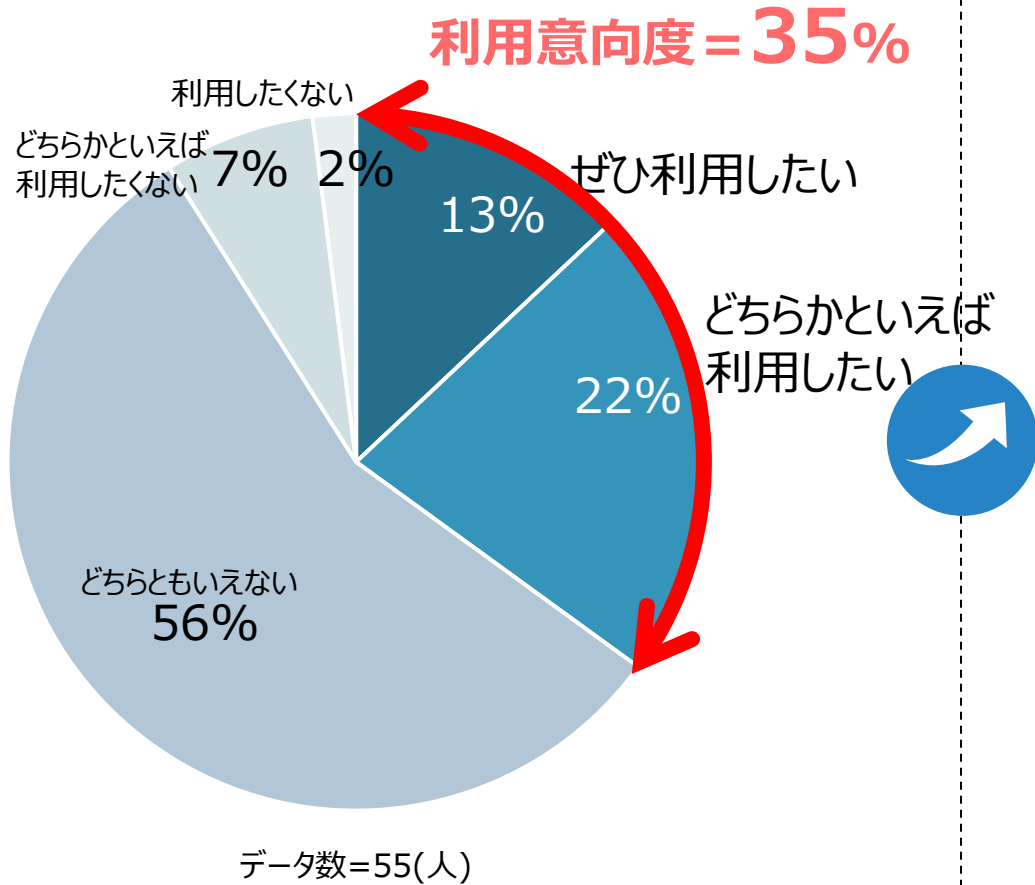


申請者によるBIM図面審査の利用意向は着実に高まってきております。

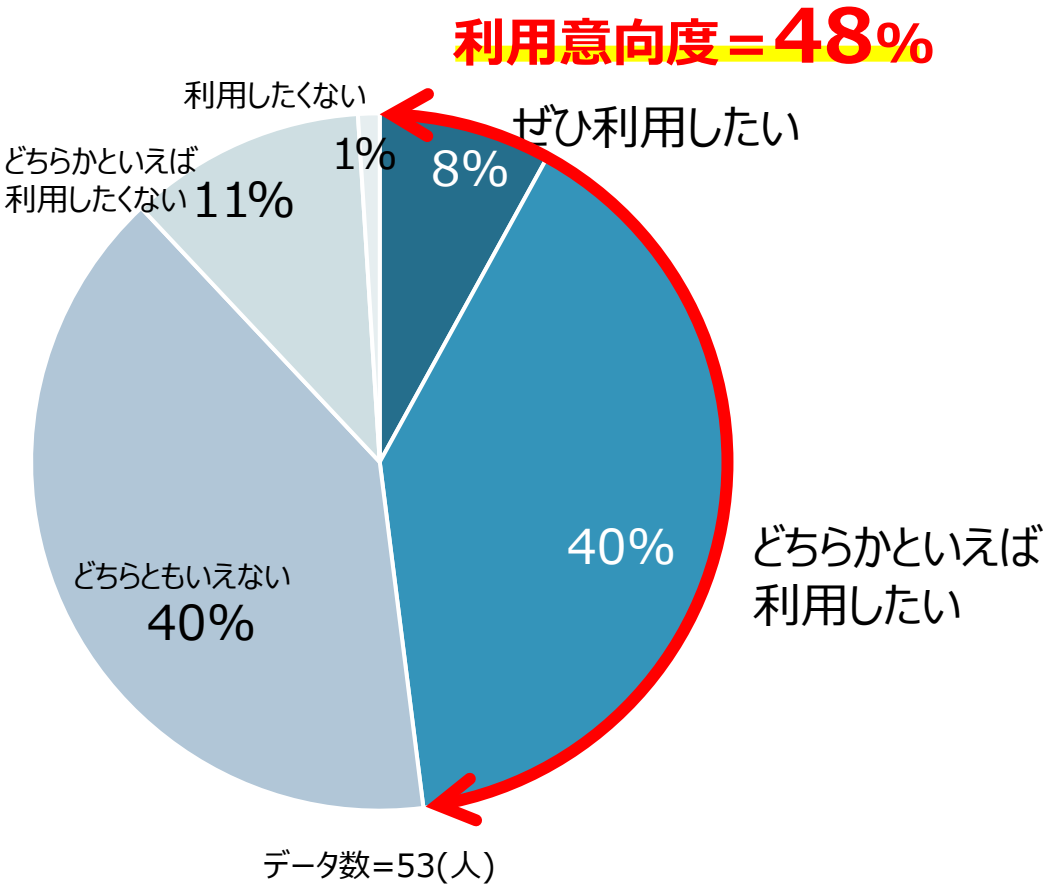
BIM図面審査の対応意向 審査者向けアンケートの結果

■ 指定確認検査機関の利用意向は5月では3割超程度でしたが、8月にはおよそ5割まで高まっています。

指定確認検査機関における
BIM図面審査の利用意向(5月時点)



指定確認検査機関における
BIM図面審査の利用意向(8月時点)

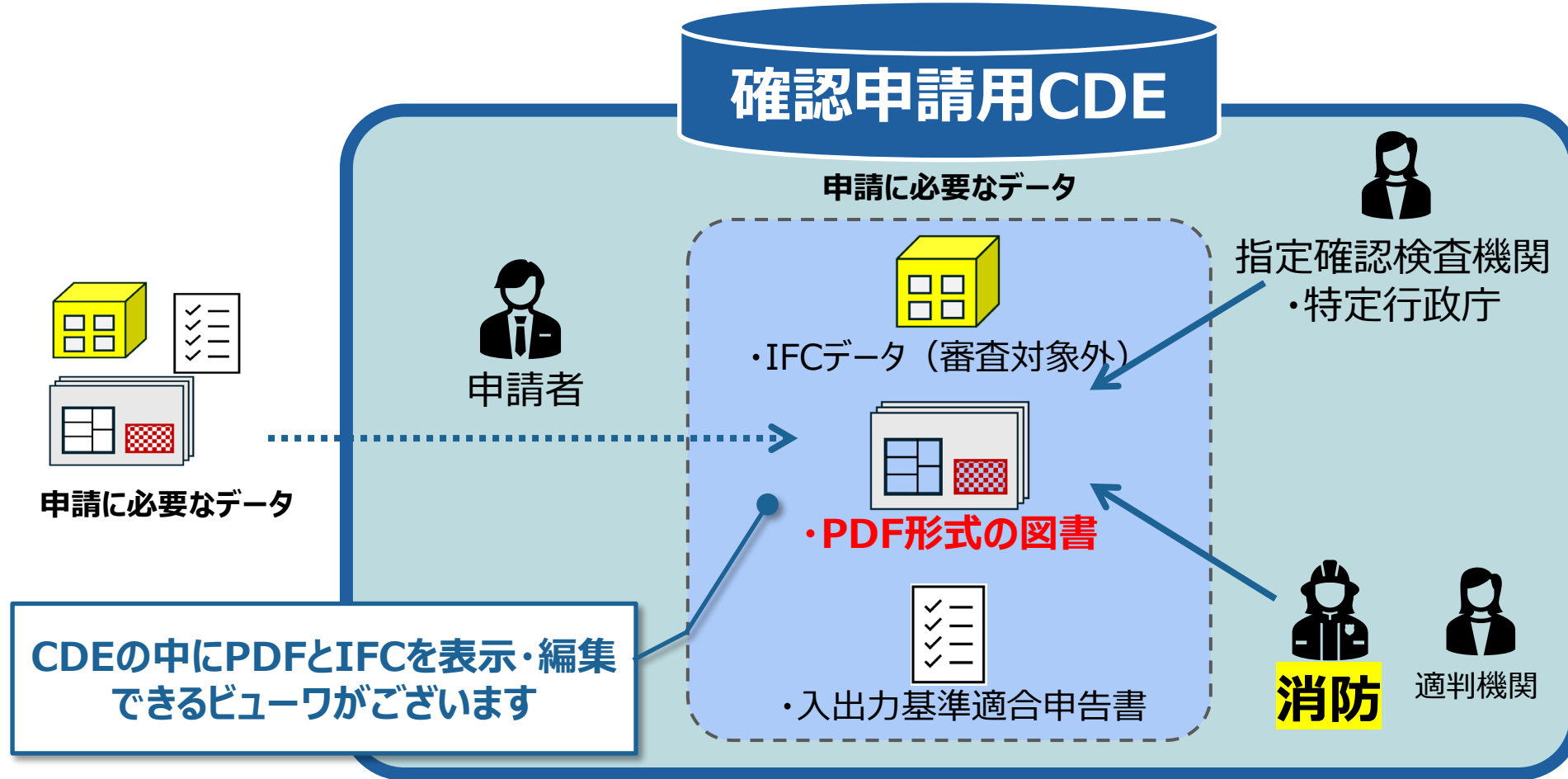


審査側のBIM図面審査の対応意向も着実に高まってきております。

確認申請用CDEの概要、メリット（消防同意事務）

確認申請用CDE（Common Data Environment）とは

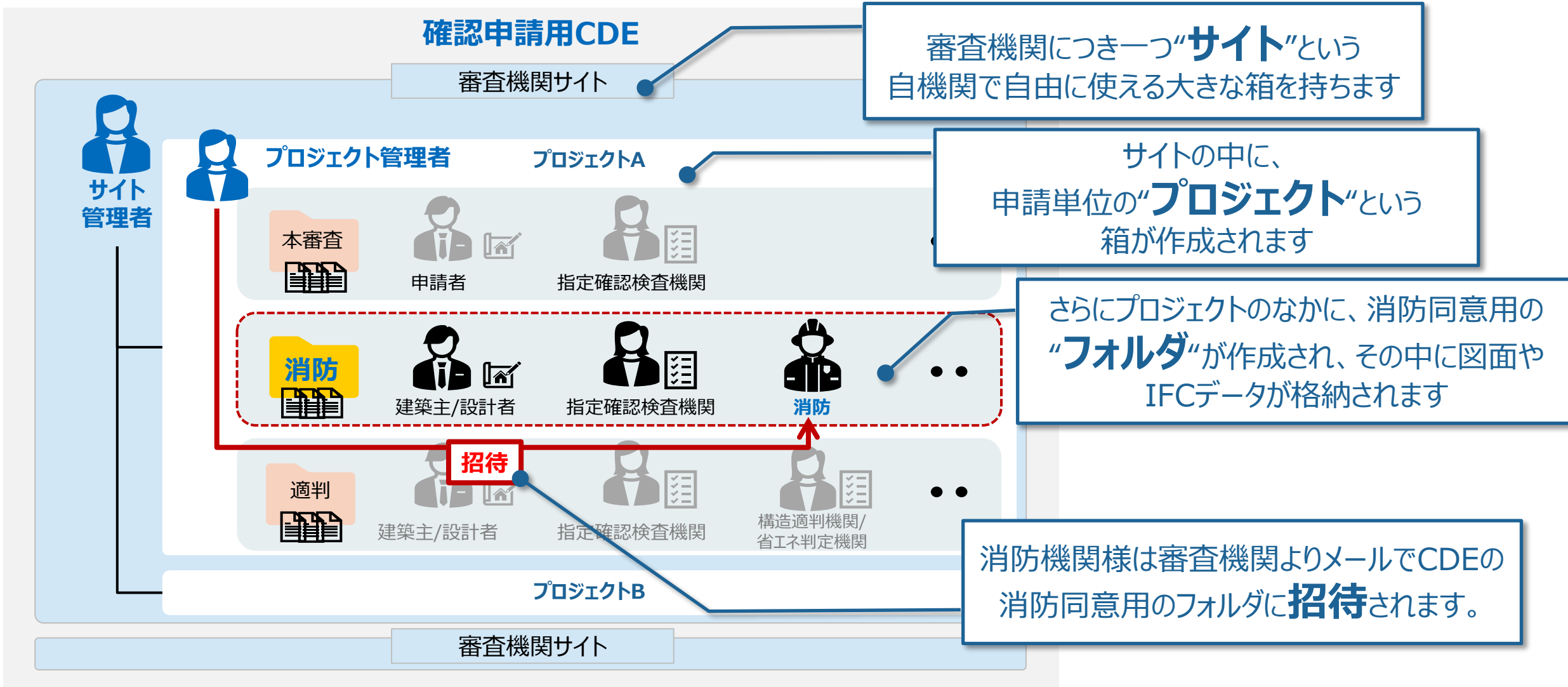
- 確認申請用CDEとは、関係者全員が同一のデータを参照して建築確認を行うための共通データ環境です。
- 消防機関様も、CDE上で図面やIFCデータの閲覧、補正指示等のやり取りなどの消防同意事務を行います。



**BIM図面審査はCDE上で行う
関係者全員が一つのデータを閲覧する**

確認申請用CDE 建築確認業務・システムの全体像

- 確認申請用CDEでは、審査機関がサイトという審査環境を持ち、フォルダごとに関連メンバーを招待して審査を実施します。
- 消防機関様は、審査機関がプロジェクト内に作成した消防同意用のフォルダに招待され、審査を行います。



- CDEを利用する際は、対象のOSおよびWebブラウザを使用し、インターネットに接続できる環境をご用意いただく必要があります。
- CDEの利用につきまして、利用規約に同意することで無料でご利用いただけます。

利用環境

OS : Microsoft **Windows11** Ver21H2 Ver22H2 Ver23H2

Webブラウザ : Google **Chrome** Ver120、Microsoft **Edge** Ver120

通信 : **インターネット**環境（LGWANではない）

出所：「BIM図面審査」に用いる「確認申請用CDE」の仕様書
<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001742200.pdf>

利用条件

利用規約への同意

※消防同意事務において、**消防機関**は確認申請用CDEを**無料**でお使いいただけます。

- 消防同意の受付方法は、署ごとにICBA電子申請受付システム（ICBA受付システム）やメール、FAX、書面など、多様な形態がございます。
- 本日まで説明するBIM図面審査における消防同意フローは、ICBA受付システムの有無に応じた2つのパターンをご紹介します。

お話しの前提

消防機関のネットワーク環境として以下を前提にしております
インターネット環境

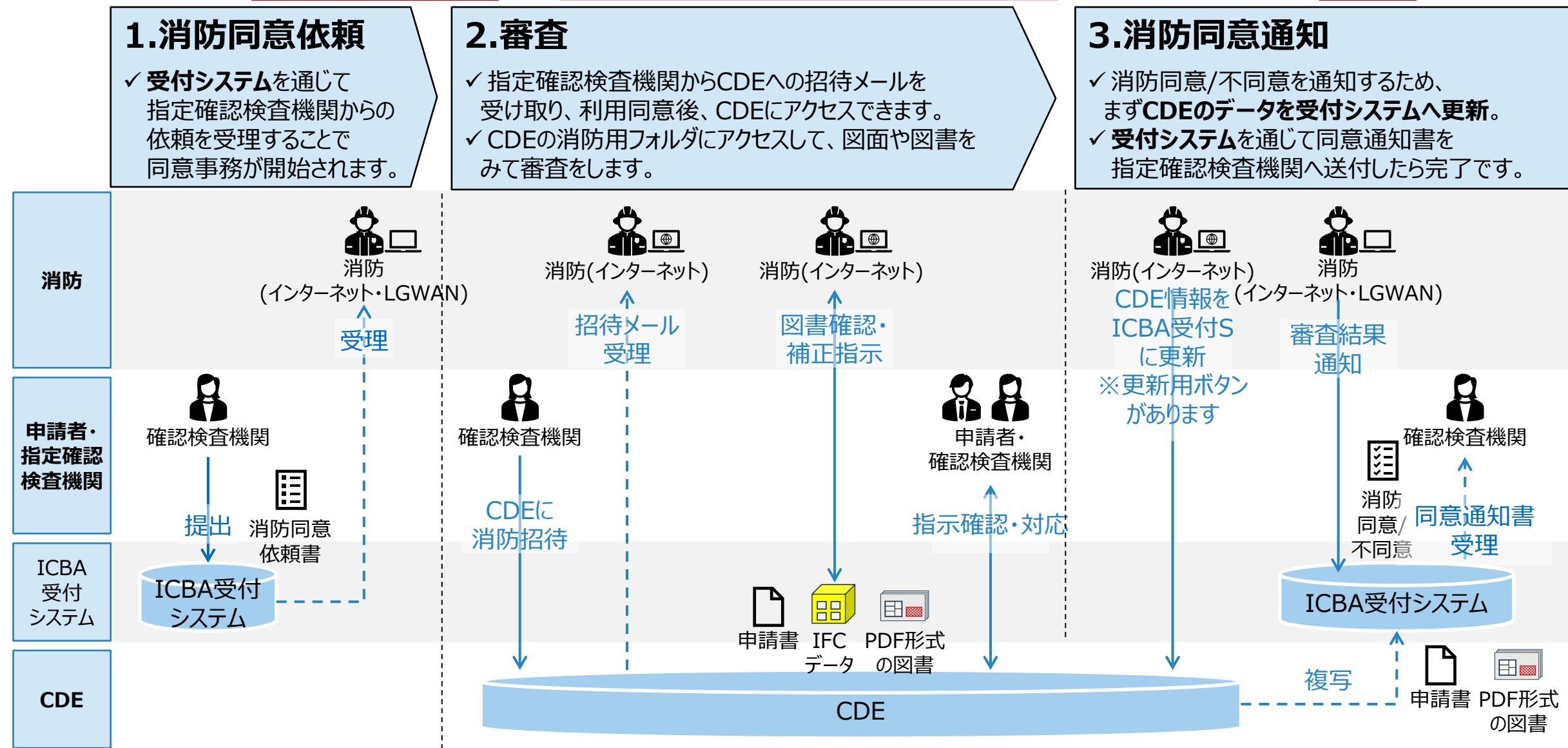
ご説明する 消防同意 フロー

パターン 1 : ICBA電子申請受付システムを**利用する**場合

パターン 2 : ICBA電子申請受付システムを**利用しない**場合

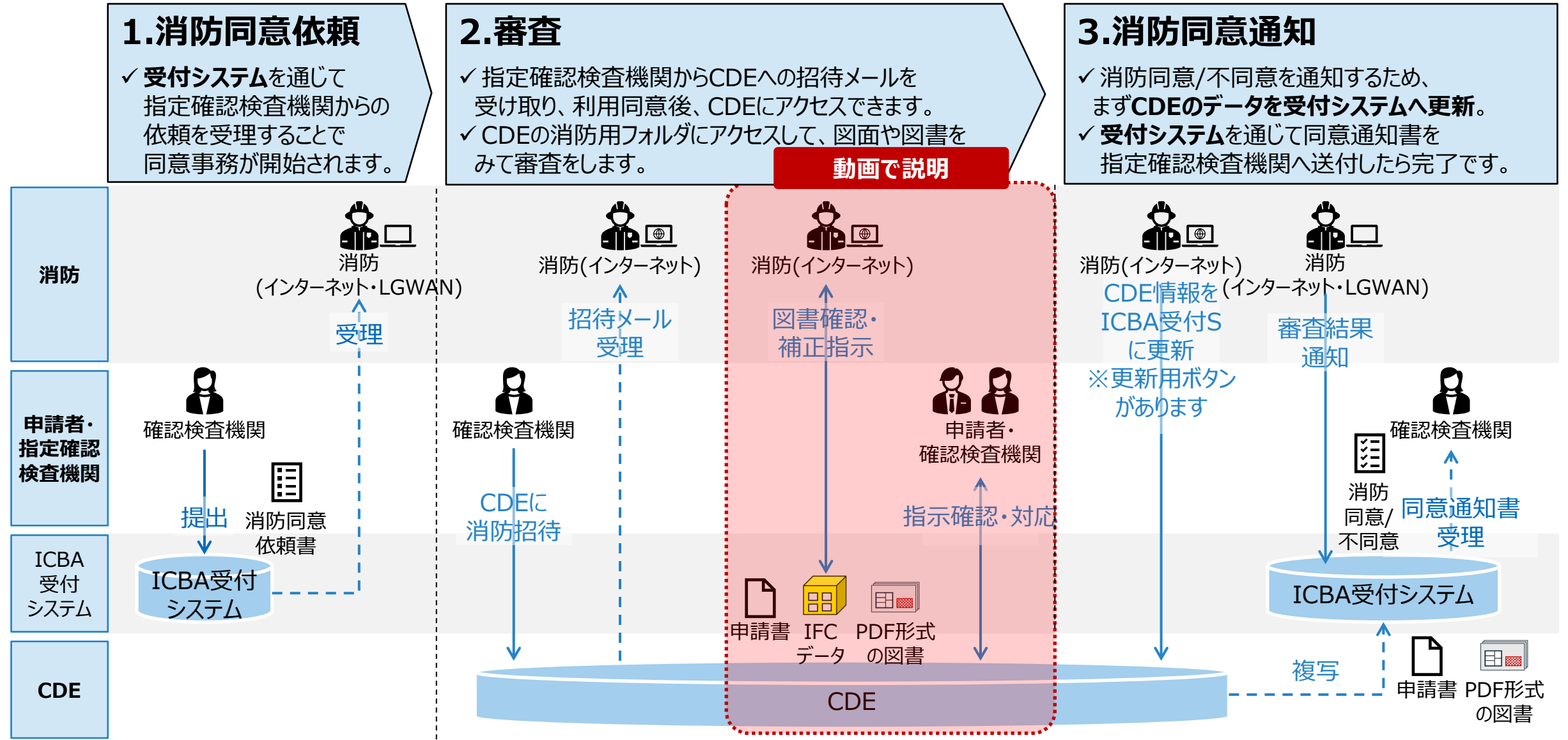
消防同意事務の流れ パターン1:ICBA電子申請受付システムを利用する場合

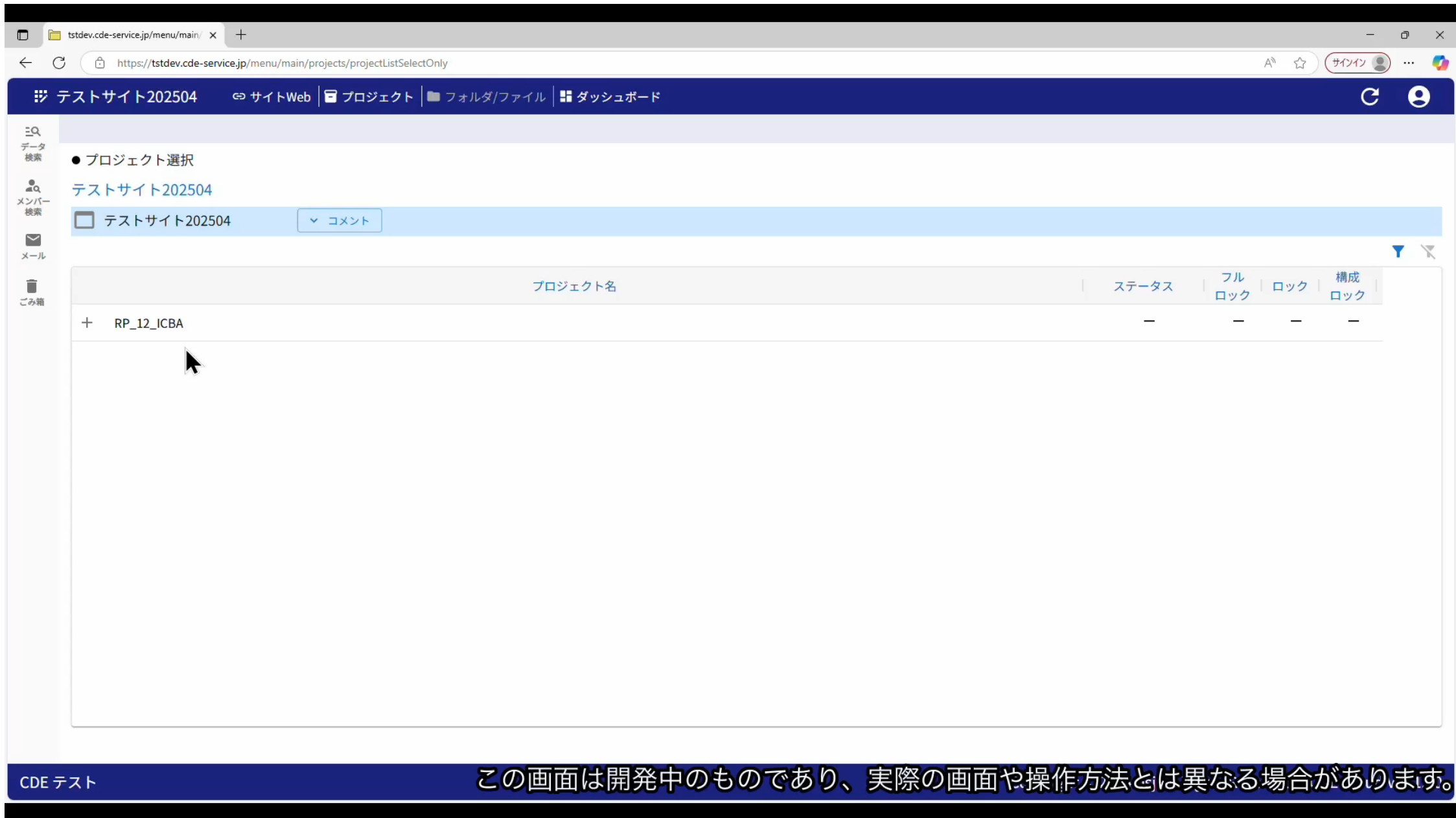
- 消防同意事務の開始の“同意依頼” と 終了の“審査結果通知”は受付システムを介して行う。審査はCDE上で実施する。



確認申請用CDEの利用イメージ

■ 消防同意事務の開始の“同意依頼” と 終了の“審査結果通知”は受付システムを介して行う。審査はCDE上で実施する。





The screenshot displays a web application interface for project management. The browser address bar shows the URL `https://tstdev.cde-service.jp/menu/main/projects/projectListSelectOnly`. The application header includes navigation links: テストサイト202504, サイトWeb, プロジェクト, フォルダ/ファイル, and ダッシュボード. A left sidebar contains icons for データ検索, メンバー検索, メール, and ごみ箱. The main content area is titled "プロジェクト選択" and "テストサイト202504". It features a search bar with the text "テストサイト202504" and a "コメント" button. Below this is a table with the following columns: プロジェクト名, ステータス, フルロック, ロック, and 構成ロック. The table contains one row with the project name "RP_12_ICBA" and dashes in the other columns. A mouse cursor is hovering over the project name. At the bottom of the page, a dark blue banner contains the text "CDE テスト" and "この画面は開発中のものであり、実際の画面や操作方法とは異なる場合があります。".

プロジェクト選択

テストサイト202504

テストサイト202504 コメント

プロジェクト名	ステータス	フル ロック	ロック	構成 ロック
+ RP_12_ICBA	-	-	-	-

CDE テスト

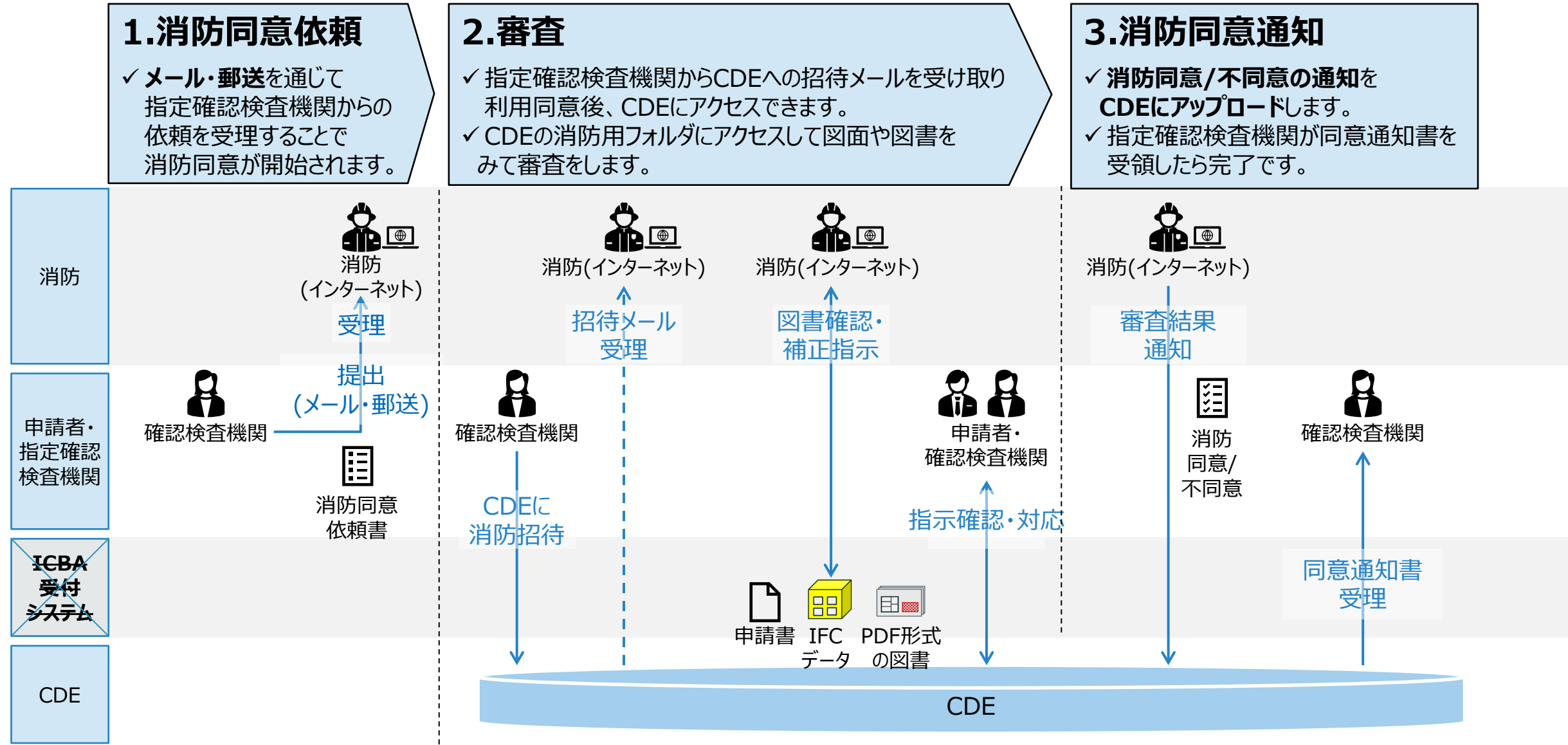
この画面は開発中のものであり、実際の画面や操作方法とは異なる場合があります。

CDE テスト この画面は開発中のものであり、実際の画面や操作方法とは異なる場合があります。



消防同意事務の流れ パターン2：ICBA電子申請受付システムを利用しない場合

■ 消防同意の開始の“同意依頼”と 終了の“審査結果通知”はメール・郵送を介して行う。審査はCDE上で実施する。



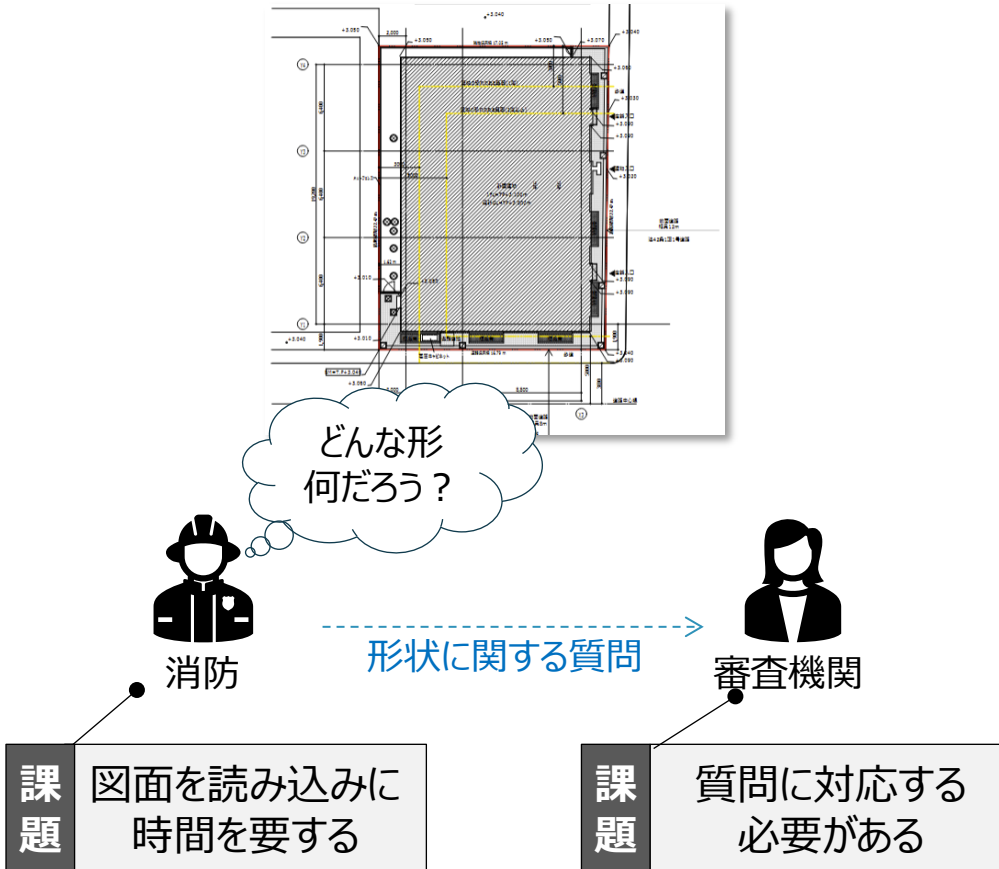
確認申請用CDE 特徴とメリット

- CDEには、3Dビューワによるモデルの閲覧や、ファイル共有・コミュニケーションの容易さといった特徴があります。
- これにより、形状や意図の伝達が円滑になり、手間やコストの削減、手戻りの抑制といった効果が期待できます。

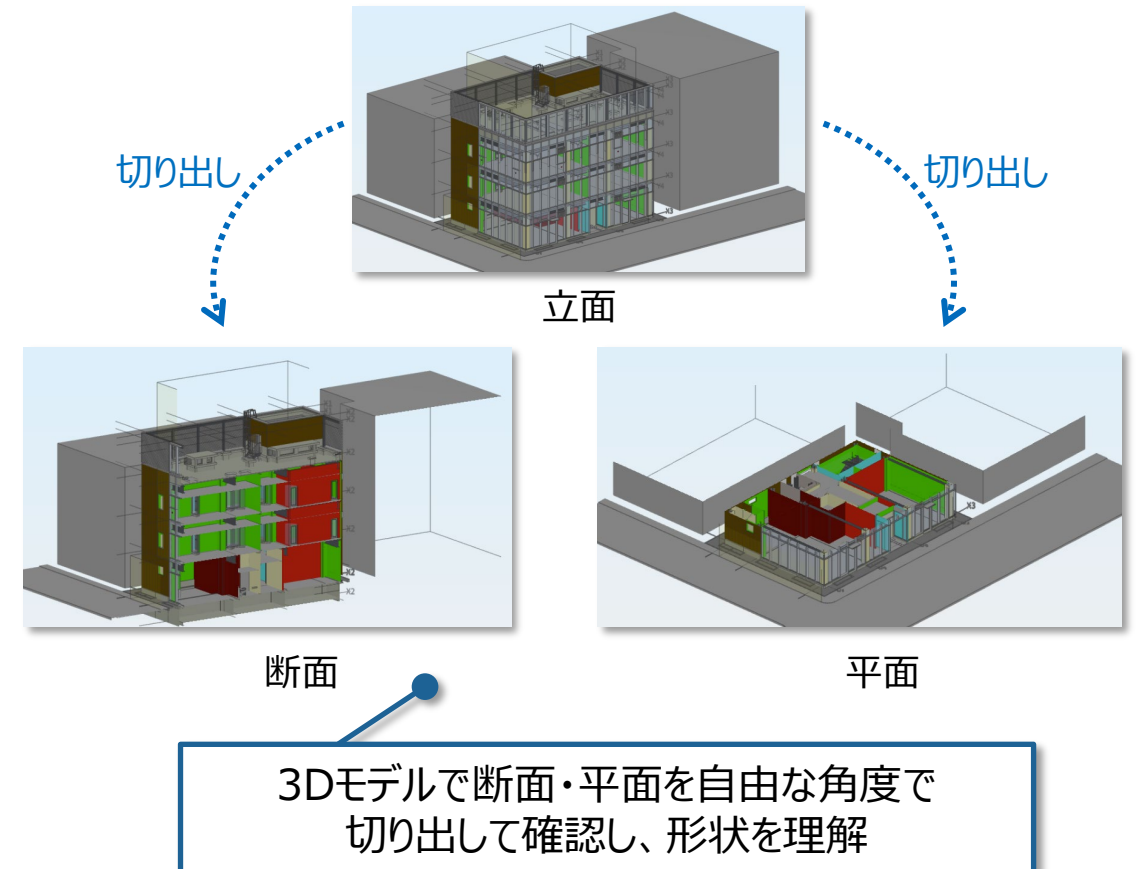
#	CDEの特徴	利用によるメリット
1	図面の他に、IFCデータ(BIMデータ)を閲覧できる	➤ IFCデータにより消防機関-審査機関間で、形状の伝達がスムーズになる
2	審査が完全に電子で行われる	➤ 手間・コストの削減や働き方改革に貢献する
3	CDE上でPDFを表示し、マークアップでの指摘や差分チェックによる図面の変更点把握ができる	➤ 修正箇所を簡単に把握でき、指摘内容を簡単に共有できる
4	関与者共通の環境でファイルを共有し、その場でコミュニケーションをとることができる	➤ 指摘に齟齬が生まれにくく、また情報管理も簡単に行える

【特徴1】図面の他に、IFCデータ(BIMデータ)を閲覧できる

従来審査（2D図面のみ）



BIM図面審査(3DのIFCデータを参照)



IFCデータにより消防機関-審査機関間で、形状の伝達がスムーズになる

【特徴2】審査が完全に電子で行われる

手間やコストの削減



印刷・正本・郵送



保管場所の確保

→全て不要

【送付】

- ✓ 印刷・製本・郵送の手間とコストの削減
- ✓ 郵便局等への持ち出しの際の紛失リスクの削減

【保管】

- ✓ 副本化や保管場所確保の手間・コストの削減

多様な働き方の促進

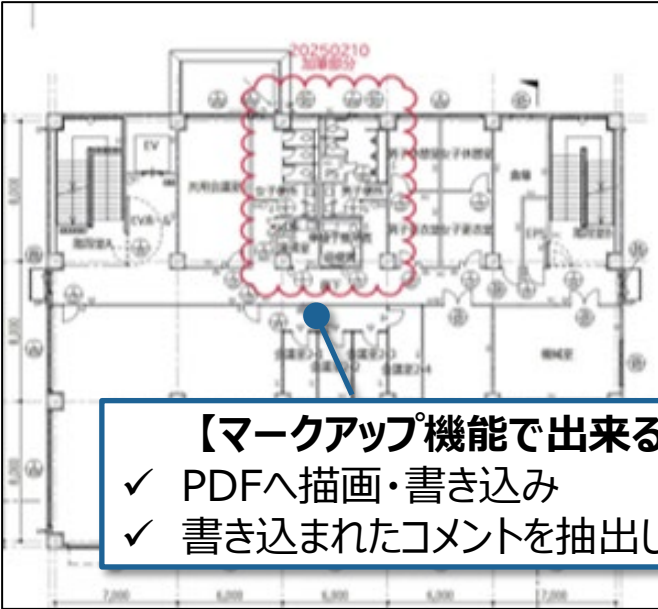


リモートで審査

- ✓ いつでも・どこからでも申請・審査が可能
(フレックスタイム制やテレワーク制度の普及促進)

電子審査ならではの効率化や利便性を実感いただけます。

マークアップ機能

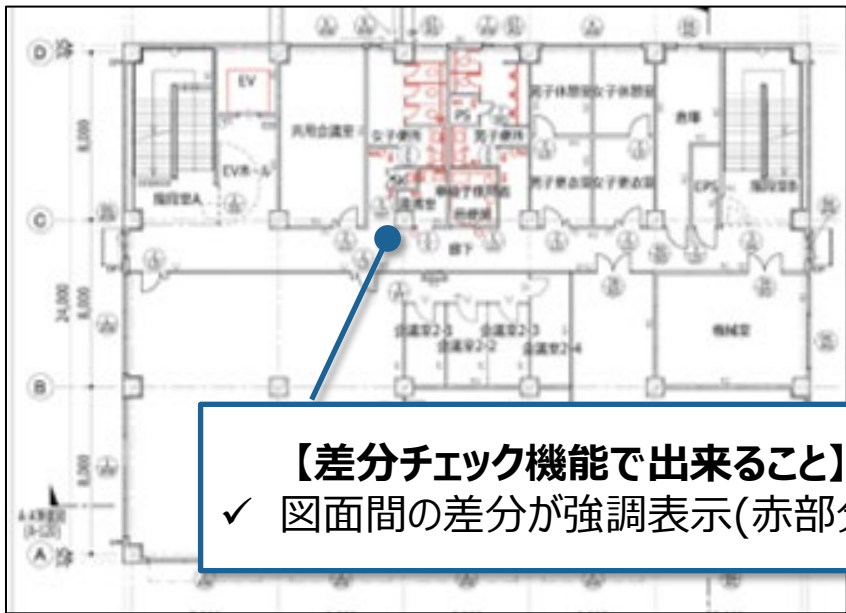


【マークアップ機能で出来ること】

- ✓ PDFへ描画・書き込み
- ✓ 書き込まれたコメントを抽出しリスト化

審査機関・申請者	消防
指摘の箇所が 一目でわかる	指摘事項一覧の 作成が不要
共通	
・ 同一環境のため、文字化け等が起こらない ・ PDFの編集ソフトを用意する必要がない	

差分チェック機能

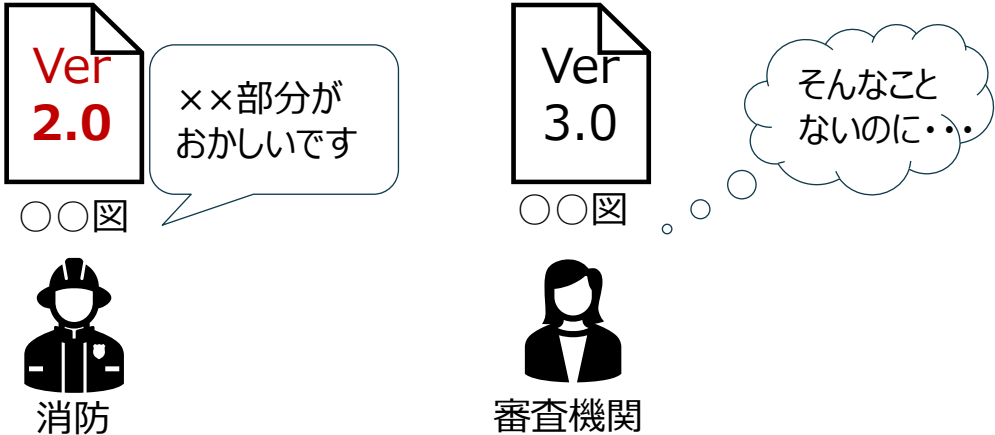


【差分チェック機能で出来ること】

- ✓ 図面間の差分が強調表示(赤部分)

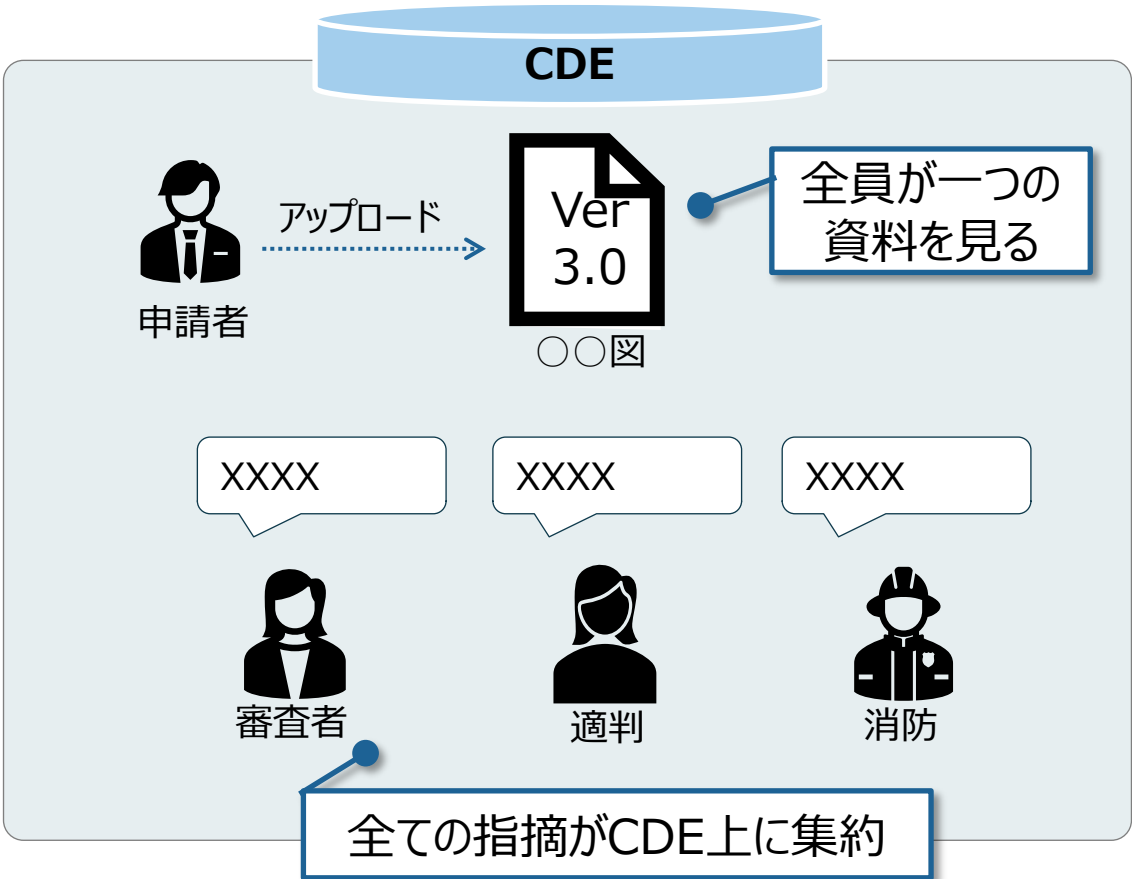
消防
・ 補正内容の理解が容易 ・ 指摘外修正を見落とさない

従来審査(各自のローカル環境で審査・やり取り)



✓ 古いバージョンの資料への指摘が発生することがある

BIM図面審査(確認申請用CDE上で審査・やり取り)



✓ 違う資料を見ることによる誤った指摘が発生しない

#	CDEの特徴	利用によるメリット
1	図面の他に、IFCデータ(BIMデータ)を閲覧できる	➤ IFCデータにより消防機関-審査機関間で、形状の伝達がスムーズになる
2	審査のすべてが完全に電子で行われる	➤ 手間・コストの削減や働き方改革に貢献する
3	CDE上でPDFを表示し、マークアップでの指摘や差分チェックによる図面の変更点把握ができる	➤ 修正箇所を簡単に把握でき、指摘内容を簡単に共有できる
4	関与者共通の環境でファイルを共有し、その場でコミュニケーションをとることができる	➤ 指摘に齟齬が生まれにくく、また情報管理も簡単に行える

CDEの活用により、データ共有や審査手続きが効率化され、
業務全体の利便性が大きく向上します

**ご協力依頼と
2026年3月までにご対応いただきたいこと**

- 各消防機関様には、BIM図面審査に対応いただくため、次の5つのステップに沿ったご対応をお願いいたします。

ステップ

1. 制度・業務の理解

2. 設備状況の確認

3. トレーニング受講による 操作・動作の確認 (2026年1月～)

4. 対応意思の表明

5. CDEでの消防同意開始 (2026年4月～)

依頼内容

本説明会の内容を関係者の方へ情報共有していただきたく存じます。

※ICBAのBIM図面審査ページに公開致します。

総務省消防庁やICBAからの発信を随時ご確認・情報共有をお願いいたします。

PCスペックやWebブラウザの確認 「P.19 確認申請用CDEの利用環境・利用条件」を参考にご確認下さい。必要に応じて、機器等の環境整備にご協力お願いいたします。

1 月開始予定のICBA主催のCDEトレーニングにご参加下さい。

1. 全国の消防機関向けのオンライン講習会(ハンズオン形式)の開催

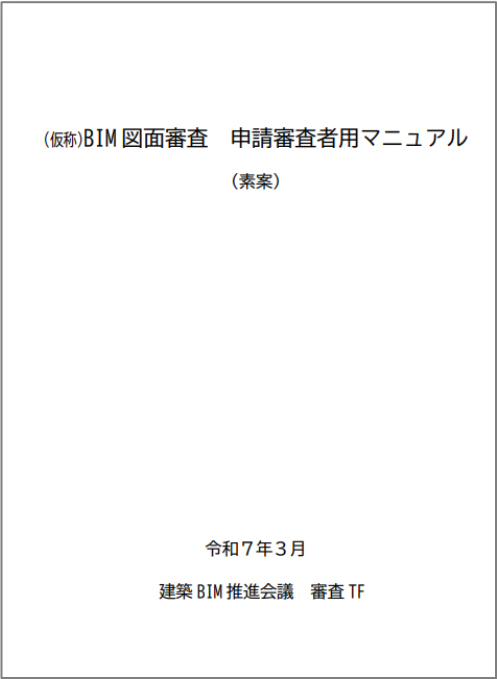
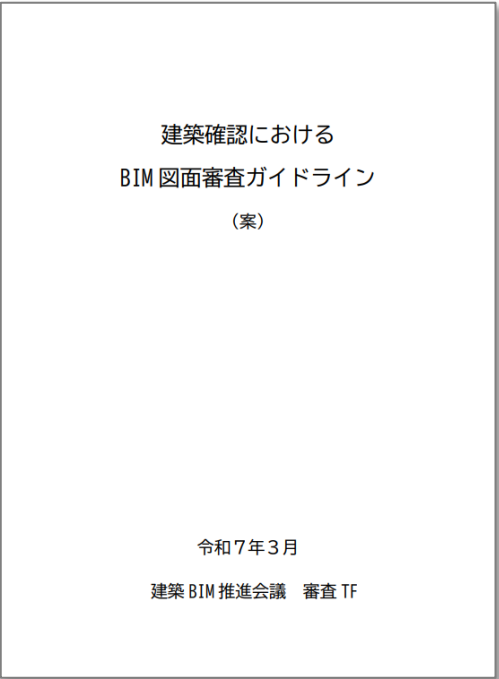
※12月頃に消防庁を通じてご案内予定

2. 自習用資料+練習用CDE環境の提供

トレーニング受講後、確認申請用CDEへの対応可否についてICBAにお知らせください。

➤ **BIM図面審査では確認申請用CDEを利用した消防同意をお願い致します。**

■ 参考資料など



建築BIM推進会議 (国土交通省HP)

- ・建築確認におけるBIM図面審査ガイドライン (案)
- ・(仮称) BIM図面審査 申請審査者用マニュアル (素案)



【ICBAホームページ】CDEに関する情報や過去説明会動画

https://www.icba.or.jp/denshishinsei/kakuninshinsei_cde.html



2026年4月よりBIM図面審査制度が開始されます。

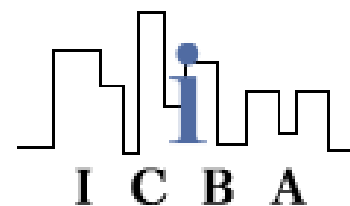
**全国の消防機関の皆様におかれましては、
確認申請用CDEを利用した消防同意事務をお願いいたします。**

ICBAとしても、皆様の取組みを全力でサポートしてまいります。

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

BIM図面審査に関するポータルサイトが
11月頃に公開予定です

アンケートへのご回答どうぞよろしくお願いいたします。



一般財団法人建築行政情報センター
Information **C**enter for **B**uilding **A**dministration